

特集！

国を支える技術系公務員！



国家公務員採用試験イメージキャラクター
KOHちゃん

一般職試験（大卒程度試験）

デジタル・電気・電子	… 75
機械 / 土木	… 76
建築 / 物理	… 77
化学 / 農学	… 78
農業農村工学 / 林学	… 79

公務の場で**専門知識**を活かして
活躍する職員を紹介します！

デジタル・電気・電子

関東総合通信局

無線通信部陸上第三課

令和4年度採用

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

私は入局時、電波監理部調査課に採用され、現在は無線通信部陸上第三課に所属しております。電波監理部調査課では、DEURASという不法無線局などを探知する設備の保守点検を行ってまいりました。電波は社会の様々な分野で使われているため、国民の皆様が快適に電波を使う環境を整える為の点検業務であるので、非常にやりがいを感じてまいりました。

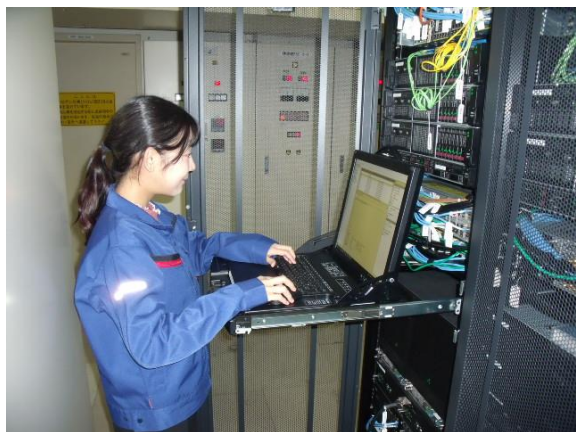


- メッセージ -

試験区分を問わずあらゆる業務に携わることができ、日々の業務を楽しくこなすことができます。また休暇が取りやすく、ワークライフバランスが整っているので、仕事もプライベートも充実しております。興味を持っていただけたら説明会へぜひお越しください。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

私は大学で物理学を専攻しており、物理学の実験で様々な機材に触れてまいりました。関東総合通信局では無線局の許認可や、電波の監視・監理を所管していることから、電子機器に触れる機会も多いのですが、大学時代の経験から、無線局の検査業務や電波監視の機材管理等で新しく使う機材に対してもスムーズに馴染むことが出来ました。



Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

担当しているシステムの運用試験を刑事ドラマに出てくるような現場内で行ったことです。そこは普段では立ち入ることのできない場所で、漠然としたイメージしかなかった警察の活動現場を目の当たりにして、このとき初めて自分たちの仕事が犯罪捜査や治安維持に貢献していることをより強く実感し、身の引き締まる思いがしました。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

大学では機械工学を専攻し、機械の設計製図、材料加工やプログラミングなどを幅広く学んでいたため、デジタル機器の取扱いやプログラミングの知識など、システムの保守に活かしています。情報通信分野の知識を専門に学んでいなくても、入庁後に警察のシステムに関する研修等が充実していますし、日々の業務で先輩が優しく教えてくれます。

- メッセージ -

警察庁技術系職員の業務は、主に情報通信分野がメインとなりますが、採用区分が機械でも十分に活躍できて、さらに新しい視点に立って警察活動を支えることができる、とてもやりがいのある仕事です。国民の安心安全を守る仕事に皆さんの知識や経験を活かしてみませんか？

空港部土木課

令和4年度採用

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

現在の部署では、東日本の空港を管理しております。特に羽田空港は滑走路4本を有する国内最大の空港であり、はじめて夜間に工事監督で滑走路へ立ち入った際、航空機の多さはもちろんのこと、広大な敷地にきらびやかに輝く航空灯火がとても幻想的で、思わず見入ってしまったことを今でも鮮明に覚えています。



- メッセージ -

空に一番近い国家公務員として、「日本の空」を支える空港技術職として、航空輸送の発展に携わってみませんか。航空の仕事に興味がある方は、ぜひ受験してみてください。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

私は大学では都市環境工学を専攻していました。空港は生活・経済活動を支える社会交通基盤の一つであって、また、海外との交流に欠かせないものとなっております。首都圏のはじめとした空港機能強化における計画や整備、維持管理といった場面で、大学で学んだ都市設備やインフラ設計に関する知識が役立っています。



- メッセージ -

ぜひ国の現場で働いている職員の話の説明会などで聞いて、職場の雰囲気を見てみてください。これまで学んだ知識を活かしながら、各機関の立場から建物に携わることができます。一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

営繕部では、各省庁の様々な建物の新築や改修などを行います。担当していた新築庁舎では設計から工事までの間、入居する省庁の方々の要望をとりまとめ、設計図面に反映させ、予算管理を行い、近隣住民への説明や要望に対応するなどの苦労がありました。ようやく建物が完成したときに、入居省庁の担当者から感謝の言葉をいただいたときにはやりがいを感じました。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

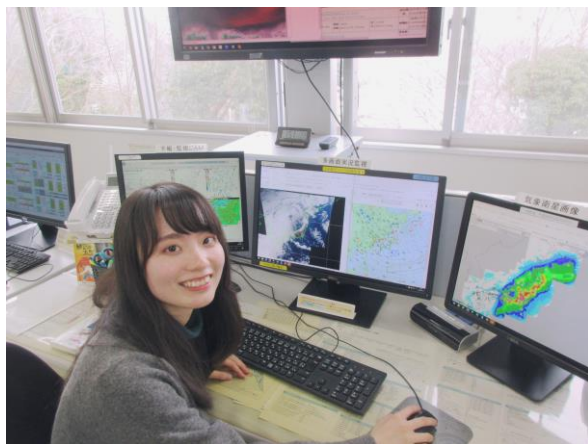
大学では建築構造を専攻していました。設計図面や構造計算書のチェック、工事現場での施工確認を行う際に「実際はこうなっていたのか！」と理解できることが多く、大学で学んだことが仕事に活かされていると感じています。特殊な施設や歴史的な価値のある建物を含め、多様な建物に設計、監督、保全など色々な方面から携わることができるのが魅力だと思います。

水戸地方気象台観測予報管理官

令和2年度採用

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

初任地の成田航空地方気象台での気象観測業務が印象に残っています。初めて自分の目で見て、雲などの気象現象の観測をして通報を行ったときは感動しました。また、現在の勤務地である水戸地方気象台では、大雨などの防災気象情報の発表を行うこともあり、自分で作成し発表した情報文が報道されたときはやりがいを感じます。

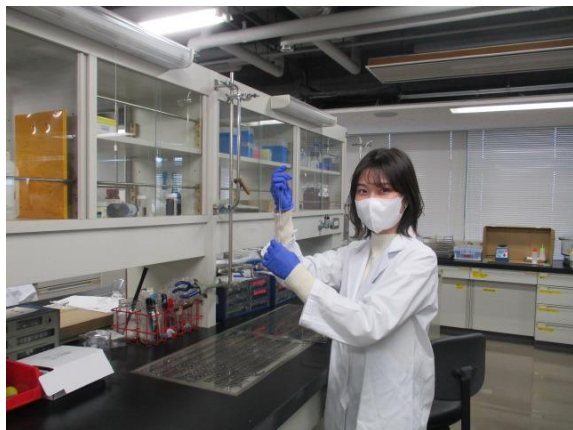


- メッセージ -

大学などで学んだ専門知識を活かした仕事がしたい方は、ぜひ受験してみてください。一緒に働けることを楽しみにしています。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

大学では気象学を専攻していました。学生時代に学んだ気象学の基本的な知識は、気象資料等を見るのに役立っていると思います。気象の知識がない人でも入庁後の研修等が充実しているため、一通りの知識は身に付けられると思います。また、わからないことは先輩や上司が優しく教えてくれますし、日々の業務で学べる機会はたくさんあります。



- メッセージ -

「税関」といえば、最近テレビで多く取り上げられている空港での勤務を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし税関には私が所属している分析部門だけでなく、化学品の通関審査をする部門等、技術系の知識を活かせる場所が数多くあります。少しでも税関に興味があれば、ぜひ希望してみてください。お待ちしております。

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

衣類に不正薬物を浸み込ませ、密輸しようとした事案が印象に残っています。化学的操作により衣類から不正薬物を取り出したところ、見た目からは想像がつかないほど大量であった衝撃が忘れられません。大量の不正薬物を目の前にしたことで、日本の安全を守るために水際で密輸を阻止する税関の大切さを改めて実感しました。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

大学では有機化学を専攻していました。私は現在分析部門に配属しており、空港等で発見された物品が不正薬物か否かを判断するための化学分析を担当しています。化学分析で分析機器を使用する際や、分析結果を解析する際には大学で学んだ知識を活かしています。税関では分析部門以外にも化学の知識が求められる部門が多いと感じます。

業務部コンテナー貨物担当

令和2年度採用

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

以前空港で働いていた際、海外からの旅行者が持ち込んだ果物から重要な害虫が発見されたことがあり、水際で病害虫の侵入を防いでいる実感がありました。また、植物検疫制度を知らなかったために輸入が禁止されている植物を持ち込んでしまい、泣く泣く廃棄に応じるといった事例も多く、植物検疫制度を周知する必要性を感じました。



- メッセージ -

植物防疫所の仕事は輸出入検疫以外にも、新たな検疫技術の開発、国内での重要病害虫まん延防止など多岐にわたるため、植物病害や害虫に限らない様々な専攻の職員が働いています。植物防疫所に少しでも興味を持たれた方は、業務説明会やインターンシップにぜひ参加してみてください。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

現在の部署では海上コンテナで輸入される青果物や穀類等の検査を行っており、検査で病害虫が発見された場合は植物検疫の対象となる種であるかを同定する必要があります。大学で学んだ植物病害や害虫の知識、顕微鏡や試薬の扱い方はそれらの業務に役立っていると感じます。

那珂川沿岸農業水利事業所工事第一課

令和5年度採用



- メッセージ -

国営事業ならではの大規模工事に携われ、技術者として様々な現場で技術や知見を磨くことができます。携わった施設は地域農業の振興に貢献するとともに地図に載ることもあり、やりがいがあります。最初は分からないことだらけでしたが周りの助けや同期の存在もあり業務に励むことができています。ぜひ受験してみてください。

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

管水路の試験通水作業です。作業の中でマンホールの開閉や発電機の始動など自身の手を動かすことも多くあり、できることが増え面白みを感じています。今年は管水路の敷設工事にも担当しており、農家の方から水が使いやすくなり助かったと話を伺ったときは自分の仕事も日本の食を支える役に立っているのだと誇りに思いました。

Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

大学では環境系の研究室に所属し、農業農村工学を広く学んでいました。土質力学、水理学、構造力学の考え方は管水路の設計、施工に必要な基礎知識であり土留めの強度計算等の確認に役立っています。また研究室で行った含水比試験等も工事監督として確認する項目となるため学んだ知識を業務に活かすことができています。

林学

関東森林管理局

下越森林管理署業務グループ(森林育成・土木)

令和4年度採用

Q. 印象に残っている仕事は何ですか。

私が現在の業務に携わるようになって初めて監督を行った海岸林の松くい虫防除事業が印象に残っています。これまで知識として知っていた松くい虫被害に係る保護事業について、実際に現場に出て作業手順や周辺地域・住民の方への配慮も踏まえてどう事業を実施するのか意識して業務にあたる経験はとても新鮮なものでした。

- メッセージ -

国有林での業務の大きな特徴は、国が直接森林を管理することができるという点にあると思います。そのため、従来の手法による森林経営に限らず、新たな技術を利用した森林経営の検証にも積極的に挑戦することができる環境があります。興味のある方はぜひ受験してみてください。



Q. 大学での専攻は仕事においてどのように活かされていますか。

私は学生の折、林学関係の研究室に所属していました。そこで学習した造林作業に係る知識や地域ごとの目的に応じた森林整備の考え方は、現在携わっている造林・保護事業でも役立っています。また、ドローンによる空撮画像を用いた林況調査等、ICT技術の林業分野への利用について学べたことも、現在の業務における後押しとなっています。